

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年4月25日

【評価実施概要】

事業所番号	2970101412
法人名	ホームケア株式会社
事業所名	ホームケア法蓮
所在地	奈良市法蓮町528-1 (電話) 0742-23-0143
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	橿原市大久保町302番1
訪問調査日	平成20年4月16日

【情報提供票より】(20年4月3日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成12年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 7 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 6.5 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建て	1階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,500 円	その他の経費(月額)	18,350 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	円
	または1日当たり			

(4) 利用者の概要(4月3日現在)

利用者人数	8 名	男性	1 名	女性	7 名	
要介護1		名	要介護2	1	名	
要介護3	3	名	要介護4	3	名	
要介護5	1	名	要支援2		名	
年齢	平均	81 歳	最低	67 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	新大宮診療所、岡谷病院、上林歯科
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、奈良市内でも由緒ある寺院などが断続的に立ち並び、またそれらを取り巻くように古い町並みが続く地域の一角に位置する古い民家改装型のホームです。介護保険の施行と共にスタートしておられ、長い経験と馴染みの関係が形成された利用者の多くが生活を共にしておられます。そのため、年月と共に利用者の介護度は上がり、車椅子生活者が6名あり重度の要介護者が多くを占めています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価では、「外部との交流が無い」「スタッフの会議スペースが無い」と指摘されています。地元自治会との関係作りの困難さや利用者の重度化により交流が困難であるとか、また、建物の古さと拡張スペースの余裕が無いといった理由がありますが、すみやかな改善実施を期待します。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>ケアスタッフを含めて、全体で取り組むという点では不十分であり、今後の改善を期待します。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>今年3月に開かれた第1回目の推進会議では、推進会議の意義、グループホームについて、認知症の理解を進めるために報告された後意見交換をされています。地域的な状況から自治会からの参加はありませんでしたが、市の担当課員の参加を得て、利用者家族と事業所関係者がいろいろと意見交換が出来、今後に期待を感じられるものとなっています。なお、今後は地域の方の参加をぜひ実現され、地域の情報や住人の率直な意見をもらい、改善に向けて取り組まれるよう望みます。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の訪問時に情報交換したり、また「月の便り」を家族に毎月送り、利用者の状況とホームでの暮らしぶりの様子を知らせておられます。訪問される家族には、スタッフが状況を報告したり、話を聞くようにされています。遠方の家族には、近くの支店から訪ねて行く等により、家族の意見を把握する機会を持っておられます。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近くのお地藏さんの掃除を利用者と一緒毎日続け、通りがかりの近所の人から話しかけられるようになるなど、身近なところで関係作りに努められています。なお、自治会や民生委員を回り、まだ協力関係には程遠いことを実感しておられますが、継続して取り組みをされるよう期待します。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	会社の理念として、その人らしく生活できる「黒子のケア」を掲げておられます。		会社の理念でなくホーム独自で地域密着サービスとして何が大事かを考えた理念作りが求められます。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝夕の申し送り、昼間のケースカンファレンスで理念を話されています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近くのお地藏さんの掃除を利用者と一緒に毎日続け、通りがかりの近所の人から話しかけられるようになるなど、身近なところで関係作りに努められています。		自治会や民生委員を回り、まだ協力関係には程遠いことを実感しておられますが、継続して取り組みをされるよう期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果を職員は目を通し、ケアの質の確保、向上に取り組まれています。		評価の意義とねらいについて理解するためにも、職員も含めて全員で自己評価に取り組まれるよう望みます。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	これまで一度開催され、事業所関係者、家族、行政職員の参加下、会議の主旨、グループホームについて、認知省の理解等を報告し、意見交換などされています。		今後は地域の方の参加をぜひ実現され、地域の情報や住人の率直な意見をもらい、改善に向けて取り組まれるよう望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	窓口にも出向き改善の検討や相談、色々な指摘を受けたりされています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時に情報交換したり、また「月の便り」を家族に毎月送り、利用者の状況とホームでの暮らしぶりの様子を知らせておられます。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	訪問される家族には、スタッフが状況を報告したり、話を聞くようにされています。遠方の家族には、近くの支店から訪ねて行く等により、家族の意見を把握する機会を持っておられます。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者やスタッフの交代が頻回にあり、家族や利用者にも戸惑いやケアの方法の変更などでスタッフ間にも戸惑いがあります。		比較的長く関わっているスタッフと利用者とのやりとりでは馴染みの安心感がうかがえますので、安定的・継続的な体制作りと、家族への周知徹底を期待します。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は理念などについて本社で研修されています。管理者については勤続2年を過ぎると実務者研修の機会を設けられています。		一般介護スタッフにも研修の機会を持っていただけるよう期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が頻回に変わるので、継続した目標が持てず前向きな交流の機会作りが実施できていません。		日々業務の中で、なかなか出て行くことは困難だとは思いますが、会社として多くのホームを運営しておられますので、自社内での交流の機会を、手始めに計画されては如何でしょうか。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>希望される場合には、利用前に見学したり、他の利用者との交流の機会をもたれています。やむを得ず急に利用を希望されることが多く、直接利用されることがあります。その場合でも、事前面談や関係機関から情報を受けて、極力適切な対応が出来るよう努力されています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>全体として、利用者の重度化がありますが、洗濯物の畳み方や昔遊び(けんだま、お手玉など)を教えてもらう等喜怒哀楽を共にする場面を作り支援されています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常生活のかかわりの中で、利用者の意向を把握されています。また、自己表現が困難な利用者の場合、長く付き合っているスタッフに教えてもらうなど、本人の意向の把握に努めておられます。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の意向や家族の思いを反映するために面会時や手紙などで要望を把握し、また、担当医師の意見も求めて、カンファレンスでスタッフ間で課題を共有化し、介護計画を作成されています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的なカンファレンスを行い、面会時の家族の意見を含め、介護時における「迷い」や「気づき」をスタッフ間で相談し、期間が終了する前に見直し、状態に変化がある場合は、終了する前であっても必要に応じて計画の見直しが行われています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	特定疾患など、利用前からのかかりつけ医への受診支援、往診や緊急時にも対応してもらえる協力医院との連携で、重度化あるいは終末期のケアも受け入れられています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期往診、臨時往診に対応してもらえる協力医院が、また入院に対応できる協力病院があり医療面では信頼をおける体制があります。また、入所前からのかかりつけ医への受診支援もされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用時に、あるいは入院といった節目節目に、家族・本人の意向を確認し、協力医療機関と相談し、全員で方針を共有されています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳に配慮した対応を心がけておられ、また、個人情報などは、自由に出入りできない保管場所に管理しておられます。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一定の日課はもたれていますが、その日の天気や利用者の体調・気分に合わせて、車椅子での散歩や買い物同行なども取り入れて支援をされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の6人が車椅子介助者であるなど重度者が多く、食事の準備や片付けはされていません。また、スタッフは持参の昼食を同じテーブルで食べながら、話題提供をしつつ食事介助をしておられます。		食事は、調理済みのものを暖めるなどして提供されていますが、一部分でも、利用者の希望の物を取り入れる方法を工夫されては如何でしょうか。また、準備や片づけでの「出番」の機会をもつ場面作りやスタッフも同じ物を食べて共通の話題で食事を楽しめるよう検討されるよう期待します。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調や気分に合わせて、週2～3回は入浴できるようにされています。		利用者の希望の回数や時間帯への対応も工夫されるよう期待します。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	車椅子でも洗濯たみを手伝ってもらったり、車椅子を押し、一緒に買い物に出かけるなど、状態に応じて楽しみや役割を持てるよう工夫されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くのお地藏さんの掃除に出かける他、近所のお寺や公園の散歩、個々の買い物に同行する等支援をされています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は安全への配慮から、施錠をされています。外出を希望される時には、スタッフが見守りしながら、開錠するよう努められています。		リビングから利用者の行動を把握しやすい構造を活かし、鍵をかけないケアへの取り組みと工夫を期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は、昼夜を想定して年2回実施し、日ごろから連携を密にする等消防署にはよく相談に乗ってもらえる関係が築かれています。		地域との関係づくりは、今後とも根気強く努力されるよう期待いたします。また、食材は当日分が配達されるシステムであり、緊急時の備蓄という点では、早急に対策を立てられるよう期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況は、きちんと記録して、スタッフが共有できるようにしておられます。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用のリビング兼食堂は台所に直接接しており、準備している様子を間近に見たり、暖められる食材やご飯の炊ける匂いに接することが出来ます。		車椅子利用者が多くを占めていますが、場面によって椅子やソファに移乗できるよう、家具の配置や空間作りなど工夫されてはいいかがでしょうか。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはホームのベッドがそれぞれに設置してありますが、チェストなどの家具、寝具、飾り物など馴染みのものを持ち込まれる等、それぞれの利用者が居心地よく過ごせるよう工夫されています。		